必ずお読みください

flec2 施工説明書

施工される方へ

■施工される前に製品をよくお確かめください。
■品質管理には万全を期していますが、万が一不良・不足がございましたら、弊社まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

警告表示の種類と内容

■人身事故や財産の損害を未然に防ぐために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を説明しています。	
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度です。 (※1)治療に入院や長期の通院を要さないケガ・やけど・感電 (※2)店舗・商品に関わる拡大損害

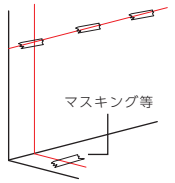
本文中に使われている図記号の意味	
⃠	「してはいけない」を示す
❗	「必ず行なっていただくこと」を示す

⚠ 注意

■パイプにぶら下がらない。
パイプにぶら下がらないでください。破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。

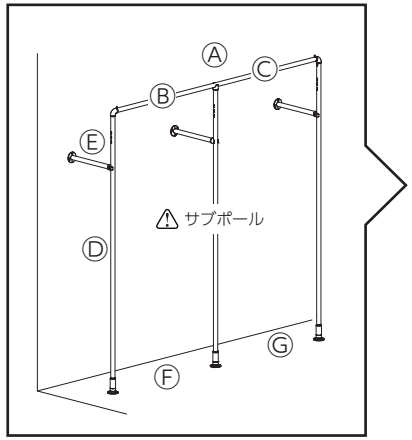
■部品が確実に取り付いているか確認。
部品が確実に取り付いていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、部品・陳列物が落下してケガをするおそれがあります。

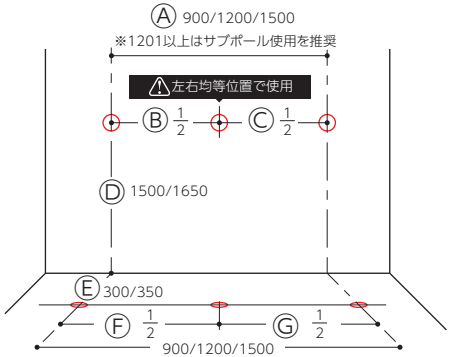
❗ 墨出しをしてから施工してください



レーザーの直線上に、壁面に付けるベースの芯と、床に付けるベースの芯が来るように墨出しをします。

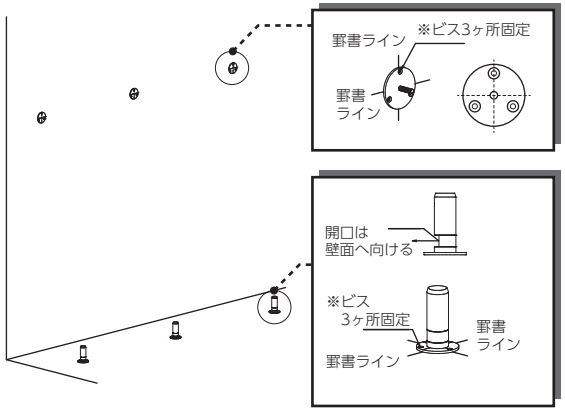
墨出し位置寸法について





上記を参考に、各指定の長さに合わせて墨出しをしてください。中間のサブポールを使う場合は、ⒷⒸⒻⒼ位置の墨出しも行なってください。

罫書ラインを引き、床と壁にベースを固定する



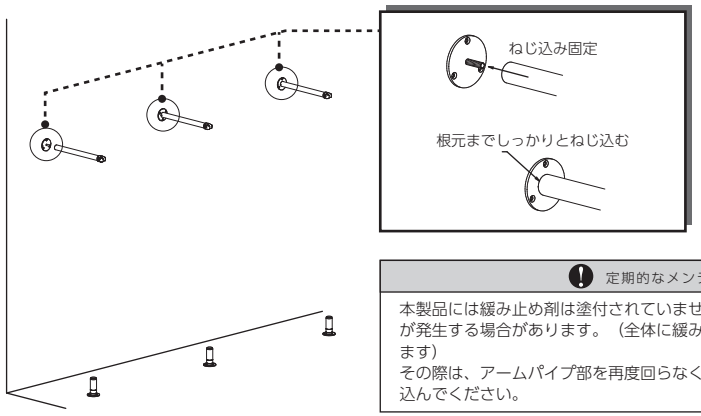
壁面に罫書ラインを引き、ビスで３ヶ所を固定します。
ビスは固定する下地材にあったビスを選定してください。

床のベースは開口を壁面に向けるようにします。
壁と同じく、床に罫書ラインを引き、ビスで３ヶ所を固定します。

⃠ ビスの間引き

ビス固定は３ヶ所すべて行なってください。間引くと不安定になり事故につながるおそれがあります。

アームパイプを取り付ける

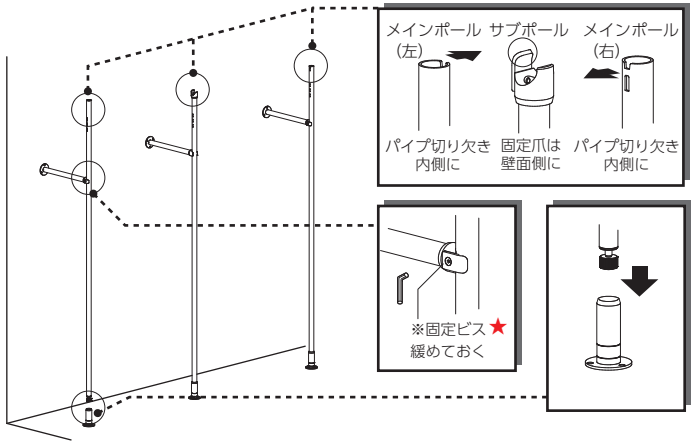


アームパイプを、壁のベースから出ているボルトにねじ込み固定します。

❗ 定期的なメンテナンスを

本製品には緩み止め剤は塗付されていません。時間経過とともに根元の緩みが発生する場合があります。（全体に緩みやきしみが発生する可能性があります）
その際は、アームパイプ部を再度回らなくなるまでしっかりと根元まで締め込んでください。

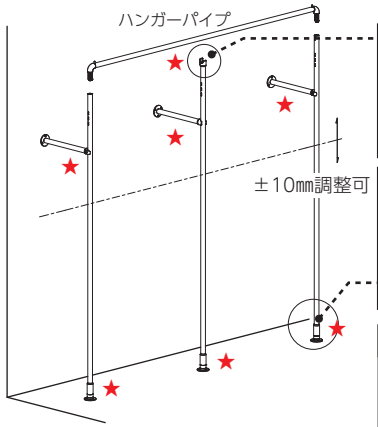
メインポール・サブポールを取り付ける

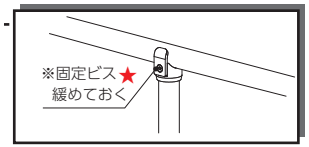


それぞれのポールに指定の向きがあります。
メインポールの切り欠き面はそれぞれ内側に、サブポール（使用する場合のみ）は固定爪を壁面側にしてください。

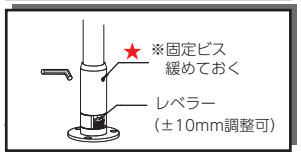
メインポール（サブポール）の下部を床のベースに入れ、アームパイプの先端の支え部分に添えます。
この段階では固定ビスを緩めておいてください。

ハンガーパイプを取り付ける





サブポールを使用する場合は、事前に裏側の固定ビスを緩めておき、ハンガーパイプ設置後にビスを締め込んでください。



床のレベラーを指で回して、ハンガーパイプの高さを調節してください

高さ調節が完了後、★部分の固定ビスをすべて締め込んでください。

❗ 高さレベル調整

床の不陸にあわせて、レベラーで水平になるよう高さ調整してください。

⚠ 注意

レベラーで調節する際、指のケガなどに注意して行なってください。